

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

日本文学誌要 60巻 : 目次

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文學誌要

(巻 / Volume)

60

(発行年 / Year)

1999-07-10

△論文▽	『万葉集』一六〇番歌の訓釈	間宮 厚司(二)
	慶長七年刊古活字本『太平記』覚書(上)	小秋元 段(十三)
	夢と虚無の彼方と現実世界	
	—ドストエフスキイの『作家の日記』の多様性(二)	立石 伯(二三)
	拾い物立身譚——薙しべ長者から塩原多助へ——	中込 重明(三六)
	挑発する△境位▽——『草枕』のヒロインを読む——	伊藤 忠(四五)
△卒論▽	雨月物語「吉備津の釜」構成論	神田奈保子(五六)
	吉行淳之介論 錛い軽薄さということ	越河 美波(六七)
	『島田雅彦』——高度資本主義時代の小説家	儀部 牧人(七九)
	認識する人間 吉田健一論(二)	松本 京久(八九)
	池波文学の母親の不在	野村 恵子(九九)
△特別企画「卒業論文を書き終えて」▽	私と卒業論文	志賀浪幸子(一〇九)
	私の卒論 黄表紙・山東京伝	塚原 敦子(一一〇)
△法政今昔▽	「手前勝手御存知商売物・上方対江戸の合戦物としての考察」	正木 信一(一一一)
わだつみ世代		
△隨想▽	佐多稻子との対話 —— イデオロギーと倫理の差 ——	小林 裕子(一四)
	メディアと幻想 —— 現代の「家庭小説」に思う ——	岡野 幸江(一一六)
	女の時間・女の友情 —— 「二つの庭」と「獄中への手紙」をめぐって	長谷川 啓(一一八)
△展望▽		
風俗の変容		
△新刊紹介▽	笠原 淳(一二六)	
小田切秀雄著『中野重治——文学の根源から』	黒古 一夫(一二八)	
新・フェミニズム批評の会編『青鞆』を読む	前田 角藏(一二九)	
関口安義著 ①『芥川龍之介の復活』	山中 秀樹(一三〇)	
△寄稿要項▽	(一〇八)	